令和6年度　12月号　川口市立辻小学校　　令和6年 12月2日

辻小学校だより

学校教育目標　　〇学ぶ子（知）　〇やさしい子（徳）　〇元気な子（体）

思いやりの心と最後までやり抜く力を育てる

～日常生活＋学校行事で学ぶ、必要な力～

校長　近藤　百合

例年以上の暑さでスタートした２学期。運動会ごろの日中の気温は、夏が感じられました。一方で朝晩の気温は徐々に下がり、秋らしさを感じるようになりました。日中の気温も１１月中旬ごろからようやく秋らしくなりましたが、やはりいつもの秋冬の様子とは少し違っているような感じです。

１１月８日の児童の部・９日の保護者の部と２回にわたり、行いました「つじっこコンサート」。子供たちの頑張りを大いに見ていただくことができました。それぞれの学年で選曲された「歌唱」や「合奏」は子供たちが自分たちのできることをしっかり行っていた成果が十分に表れていました。「歌唱」では低学年は元気よく、中学年は歌詞の意味を考えた歌い方、高学年は美しい響きを意識していました。「合奏」も鍵盤ハーモニカやリコーダー、様々な楽器を用いた演奏と学年の実態に合った内容でした。それぞれの学年に見どころがあり、見ごたえ、聴きごたえのある演奏会でした。

私にとっては辻小学校で初めての演奏会でしたが、「歌唱」でも「合奏」でも友達と奏でたハーモニーによって学年の一体感が感じられました。演奏中の子供たちは緊張した表情であっても生き生きとした様子で、「自分たちはつじっこコンサートに向かって頑張ってきた。」という気持ちがよく伝わりました。子供たち一人一人の努力は素晴らしかったです。全員に大きな拍手を送りたいです。

２学期の大きな行事である運動会、つじっこコンサートを通し、「仲間を大切にしながら協力し合うこと」、「何事も最後までやり抜くこと」が育成できたと感じています。さらに子供たちが満足できる成果が表れたことで「頑張ってきてよかった」「自分はやればできるんだ」という自信につながることができたと思います。

学校行事は達成する目標がはっきりしており、子供たちも短期間で集中して取り組むため、心の成長を大きく感じます。一方で行事は、短期的な取組であることから子供たちがそれだけに集中しすぎて燃え尽き症候群になったり、短期的な集中が苦手な子供たちにとってプレッシャーとなってしまったりすることもあります。子供たちは行事だけで成長するわけではないのですが、大人が子供たちの行事での頑張りに期待しすぎるあまり、子供たちが本来、身に付ける力がつかないということもあり得るのです。子供たちの成長は日常生活と学校行事の双方があって初めて大きな成長を遂げることができるのです。

子供たちが「仲間を思いやる力」や「やり抜く力」は日々の教育活動でも十分に育ちます。日々の教育活動の集大成が学校行事であると私は考えます。そして学校行事で育成できた力も日々の教育活動で生かすことによって子供たちの大きな成長につながると思います。子供たちが成長した姿を様々な場面で見られることを期待したいです。

２学期もあとわずかです。保護者・地域の皆様にはたくさんのご協力をいただきありがとうございました。子供たち、そして皆様にとってよい年を迎えられますようご祈念いたします。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等随時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右の QR コードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ　http://tujisyou.official.jp/